

南京都病院だより

No.71 2023.07

南京都病院

<https://minamikyoto.hosp.go.jp/>
編集：南京都病院広報委員会

Topics

着任のご挨拶

臨床研究部長 山本 兼司

当院は、呼吸器疾患・小児疾患・脳神経筋疾患を中心に、発症から診断、治療、経過観察を通して、近隣の診療所や病院、保健所、事業所とも連携しながら、患者さんやご家族に寄り添ってうまく病氣と付き合っていけるようサポートしていく医療を目標としています。

近年、難病であっても新しい薬剤によって発症や進行を抑えることができるようになりつつあります。また、そのような治療が未だ見つかっていない疾患であっても、様々な治療薬・医療機器・リハビリテーションや看護・介護によって、生活の質を保ったり、症状を軽減・緩和したりすることができます。患者さんの病状を把握し、適切な治療方針をたてつつ、このような医療の発展に貢献するためには、現在の、あるいは、未来の患者さんに、より良い治療を提供するための臨床研究を行うことが必要です。臨床研究部では、院内外のも職種で協力しつつ、患者を支えるための研究や新しいお薬の治験を行っています。こうした活動を通じて、エビデンスに基づきながら、これまで脳神経内科医としてとりくんできた成果を皆様に還元したいと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。



看護部長 村井 紀子

2023年4月より看護部長に就任致しました村井紀子と申します。前施設も重症心身障害児・者の患者さん、神経・筋難病の患者さんが療養されている施設であり、多くのことを学ばせていただきました。引き続き南京都病院においても、皆様から様々なことを学ばせていただき、より良い看護を実践していこうと考えております。

看護部では、「患者さんの人権を尊重し『安全と安心』『納得と信頼』のある看護の提供」の理念を実現するために、令和5年度は以下の看護部目標を掲げています。

1. 患者を中心としたサービスの向上
2. 安全・安心で専門性の高い看護の提供
3. その人らしい生活を地域で支援できる連携と情報発信の強化
4. 健康で安全に働き続けられるための業務改善の推進
5. 健全な病院経営への積極的参画

当院でも昨年度までは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、様々な行事、研修等が中止や規模縮小を余儀なくされました。しかし、今年度は5類移行をきっかけに、引き続き感染予防対策を徹底しながら、患者さんの療養生活に少しでも「彩り」と「潤い」を提供できるよう、看護部職員と共に尽力して参ります。そして、当院で働く一人ひとりの看護職員が、専門職としての自覚と誇りを持ち、患者さんを中心としたサービスの向上、安全・安心で専門性の高い看護を実践することで、患者さんやそのご家族に選ばれる病院を目指していきます。

ご迷惑をかけることも多いと思いますが、皆様ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

新任医師のご紹介

脳神経内科

2023年4月1日着任

脳神経内科 医師 ほそ かわ きょう こ 細川 恭子

〈専門分野〉脳神経内科一般

〈認定・専門医等〉日本神経学会神経内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本臨床神経生理学会神経内科専門医、日本てんかん学会てんかん専門医

はじめまして、4月から脳神経内科医師として着任しました細川恭子と申します。

今年で医師12年目になりますが、昨年までの4年間は大学院で学生生活をしておりました。病棟業務は4年ぶりになりますので、毎日気合を入れて頑張っております。

南京都病院では、長期経過の難病患者さんの診療など、これまで赴任した病院とは一味異なる部分もありますが、他の先生方やコメディカルスタッフの皆様と力を合わせて患者さんの助けになるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科

2023年4月1日着任

小児科 医師 た なか なお こ 田中 尚子

〈専門分野〉小児科一般、とくに免疫・アレルギー

〈認定・専門医等〉日本小児科学会小児科専門医

小児科医師の田中尚子と申します。2011年から3年間非常勤で働いたのち出産と主人の留学で渡独。帰国後2018年から再度非常勤勤務を開始して今年常勤医師として勤務させていただくことになりました。現在進行形で一筋縄ではいかない息子の育児に四苦八苦しているのご両親ご本人の悩みに寄り添える診療ができればとてもうれしいです。不便な場所である分、お一人ずつの診察時間に余裕があるのも当院小児科の特徴なので気になることはご遠慮なくご相談いただければと思います。外来、ショートステイ、しらうめご利用でのご相談もお待ちしております。



小児科

2023年4月1日着任

小児科 医師 た じり ゆう じ ろう 田尻 雄二郎

〈専門分野〉小児科一般、アレルギー

〈認定・専門医等〉日本小児科学会小児科専門医

2023年4月に赴任いたしました小児科医の田尻と申します。以前は奈良の天理よろづ相談所病院にて食物アレルギーや喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症などアレルギー疾患を主に診療しておりました。

医師としては12年目ですが医療的ケア児などの障害者医療の経験は少なく未熟ではありますので、これから研鑽し、利用者様たちにより良い療育の場を提供できるよう尽力したいと思っております。また、地域の小児アレルギー診療の助けになればと思っており、アレルギーでお悩みのお子さんがいらっしゃればお気軽に受診していただければ幸いです。

小児科

2023年4月1日着任

小児科 医師 かじ もと さと し 梶本 智史

〈専門分野〉小児科一般

令和5年4月1日から赴任致しました医師7年目の梶本智史と申します。今までは大阪の北野病院を中心に勤務して参りました。専攻は小児神経分野を志しており、京都大学大学院に籍を置きながら、研鑽を積んでいるところとなります。

医療的ケア児(者)の感染症罹患時や痙攣時の治療は北野病院でして参りましたが、専門的に診療するのは初めてとなりますので、精一杯努力して研鑽を重ねていきたいと考えております。4か月という短い期間にはなりますが、医療的ケア児(者)を少しでもサポートできるよう尽力致しますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

Topics

『新型コロナ5類引き下げ』に伴う病院対応

まつもと えいし
感染管理認定看護師 松本 英司

令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと位置づけの変更がされました。それに伴い、陽性者や濃厚接触者への行動制限の緩和や、医療費負担が発生することなど、大きな変更が行われました。病院等事業所においても感染対策をどのようにするかは、それぞれの事業所の判断に委ねられるようになりました。

当院では、「5類に変更になったが、ウイルス自体は変わっていない」こと、「当院に入院されている患者さんの多くは呼吸器系を含む様々な合併症を有しておられ、新型コロナウイルス感染症に感染した場合には容易に重症化することが懸念される」ことなど、当院の特性を踏まえて感染対策の再検討を行いました。

ここからは当院の感染対策の主な変更点と、今後も継続していく対策について紹介します。



1) 対面での面会を再開しました。

予約制ではありますが、対面での面会を再開しました。

面会の条件や予約等の詳細に関しては、南京都病院HPをご確認ください。



2) 玄関での聞き取りを廃止しました。

以前は、玄関で職員による聞き取りを行っておりました。

現在は、

①発熱やその他の症状のある方

②新型コロナにかかって10日を経過していない方

は、患者さんご自身で申告していただくようになりました。

備え付けのボタンでお知らせください。職員が対応します。



3) 入院前・発熱などの有症状時、内視鏡前の検査は継続します。

病院内へのウイルスの持ち込みを防止するために、入院前や、発熱などの症状のある時、内視鏡検査の前はコロナの検査を行います。



以上、主な変更内容をお示しました。

6月半ば現在、新型コロナウイルス感染症はやや流行の兆しがあり、厳重に対策を講じていく必要があると考えています。今後流行が治まった時には迅速かつ慎重に対策緩和していけるよう検討してまいります。

今後とも南京都病院の感染対策にご協力をよろしくお願いいたします。

地域連携 地域連携に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

子どもと家族に寄り添って



小児科・アレルギー科
たなか医院



院長 田中 慎一郎 先生

- 京都府宇治市小倉町神楽田16
近鉄京都線「小倉」駅より徒歩約2分、JR奈良線「小倉」駅より徒歩約9分
- TEL.0774-66-2994 ● 駐車場：あり（約15台）
- <https://tanaka-kero.com/>

診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
16:30~18:30	○	○	/	○	○	/

休診：水曜・土曜午後・日祝

※予約患者さん優先です。

※予約が取れない場合でも、急な怪我・喘息発作などで症状が重い場合はご連絡ください。

※予防接種・乳児健診は上記時間とは別に行います。



子どもと家族に寄り添いながら、地域の皆さんが安心して頼れるクリニックを目指している、たなか医院です。小児科とアレルギー科を中心に、赤ちゃんから思春期までの幅広い年齢層の子供

たちの健康管理や疾患治療を行っています。定期的な健診や予防接種、一般的な小児疾患の診断と治療を通じて、お子さまの健康をサポートしています。診察の際には、病名だけでなく、将来の経過や起こり得る状態についても丁寧に説明し、ご家族の理解と安心感を大切にしています。

アレルギー性疾患についても専門的なケアを提供しています。症状の詳細な評価やアレルギー検査を通じて、個々の患者さまに最適な治療プランを提案しています。アレルギーの予防や対策についてもアドバイスを行い、患者さまとご家族がより快適な日常生活を送れるようサポートしています。

当院だけで解決できない問題については、南京都病院をはじめとした周辺の医療機関との連携を図りながら、適切な対応を行っています。

医師、看護師、医療事務スタッフが一人となり、子どもさんの成長段階に合わせた適切な医療と、ご家族に対するサポートを提供できるよう、日々努力しています。子どもと家族の笑顔と健康を第一に考え、信頼できる医療サービスを提供しています。地域の皆さまの信頼に応えるため、常に向上心を持ち、温かい雰囲気の中で診療を行っています。

地域によりそう
笑顔あふれる 憩いの場所

内科・外科・整形外科

コマダ診療所

院長 池田 文武 先生



- 京都府相楽郡精華町菱田宮川原10
近鉄京都線柏田駅徒歩5分、JR学研都市線下柏駅徒歩8分
- TEL.0774-93-1787 ● FAX.0774-94-2216
- 駐車場：あり（無料：15台）
- <http://yamashirominami.net/doctor/seika/02komada.html>

診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
18:00~20:00	○	○	/	○	○	/

休診：水曜・土曜午後・日祝、臨時休診あり



精華町の北部に診療所を開業して40年になります。地域に根ざした診療をさせていただいています。

当診療所は内科医、整形外科医の2人体制で外来診療、訪問診療を行っていて、訪問看護も行っています。また行政の予防注射、健診事業、福祉事業にも長年協力させてもらっています。

地域の病院、介護サービス事業者と密接な連携のもと、患者さんのニーズにあった医療サービスを提供できるように努めています。今では患者さんよりいつまでも元気に診療してもらいたいと心温まる暖かい声をいただいております。

今後も皆様に信頼、愛されるように医療提供していきたいと思っています。



Topics

「神経難病相談会」を開催して

日本難病看護学会認定難病看護師

ふじ い とし え やま ざき み え きた よし かず こ
 藤井 利江 山崎 美枝 北吉 一子

2014年5月23日に「**難病の患者に対する医療等に関する法律**」(難病法)が成立したことを記念して、毎年5月23日が「**難病の日**」に登録されました。神経・筋難病患者は、その稀少性のため病気に関する情報が少なく、周囲の理解が得られないこともあります。そこで、患者さんやご家族の思いを、多くの方々に知っていただく機会が必要ではないかと考えました。

昨年度より、当院に受診、入院されている患者さんとそのご家族に「難病の日」を知っていただき、神経・筋難病を患いながら生活されている患者さん、介護されているご家族の思いや悩みを聴く活動を始め、今年度2度目の開催をしました。約3時間の短い時間ではありましたが、8名の外来患者さんとそのご家族、入院患者さんのご家族3名とお話しさせていただきました。

外来患者さんとの関わりでは、パーキンソン病のため不自由な生活を強いられているにも関わらず、**介護保険制度**や**特定医療費助成制度**を知らずにいる患者さんがいらっしゃいました。**神経・筋難病は治療方法が確立しておらず、徐々に進行していく疾患です。当たり前に出ていた「食べること」「呼吸すること」「立つ・歩く・座る」こともできなくなっていく**ます。その喪失感は計り知れず、絶望に苛まれる方も少なくありません。私たちは、これから起こりうる病状を予測し、難病申請と

介護保険制度の手続きの仕方を丁寧にお伝えしました。この患者さんらは笑顔がこぼれ、「今日、話してきて良かった。ありがとう。」と喜んでいただくことができました。

この数年、コロナ禍で面会もままならない状況の中、神経・筋難病患者さんとそのご家族は、気軽に医療者に悩み事を相談することもできず、辛い生活を送られてきたことが予測できました。この「神経難病相談会」の活動を通して、私たち難病看護師がいることを外来患者さんやご家族にも知っていただき、今後も気軽に相談をしていただけるきっかけになったのではないかと思います。今後は、今年度より年2回(5月・11月)と活動回数を増やし、神経・筋難病患者さんおよびご家族にとっての心の拠り所となれるように、日々精進していきたいと思えます。



お知らせ

『健康フェア』を開催いたします!



新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年以降開催を見送っておりました『健康フェア』を今年より再開いたします。

南京都病院は地域の皆さんの健康管理のお役に立ちたいと考えています。感染症拡大防止対策を講じた上で、実施させていただきますので、地域の皆さんのたくさんのご来場をお待ちしております。

健康フェアスタッフ一同

- 日時: 令和5年 10月1日(日) 10時~16時
- 場所: アル・プラザ城陽 1階プラムコート
- 内容: 骨密度測定

脈拍・血圧測定、血管年齢測定

各種相談コーナー

(小児科・看護・栄養・薬剤)

検査機器を使用したクイズコーナー

治験紹介コーナー、キッズ写真コーナー



写真: 2019年5月18日 アル・プラザ城陽にて



独立行政法人国立病院機構

南京都病院

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
時間外緊急時 TEL.0774-52-0642

<https://minamikyoto.hosp.go.jp/>

当院は在宅療養安心病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

〈地域医療連携室〉

TEL.0774-52-0191(直通) TEL.0774-52-0065 (代表)
FAX.0774-58-0270

月~金 8:30~19:00 (土日祝休み)

E-mail: 407-renkei@mail.hosp.go.jp

※予約状況を確認し、その場で受診日時をお返しいたします。なお、お時間を要する場合は折り返しお返事させていただきますのでご了承ください。

診療科のご案内

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| ● 内科 | ● 脳神経内科 | ● 呼吸器内科 |
| ● 消化器内科 | ● 循環器内科 | ● 小児科 |
| ● 外科 | ● 整形外科 | ● 呼吸器外科 |
| ● 皮膚科(入院のみ) | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科 |
| ● 心臓内科(入院のみ) | ● 歯科(入院のみ) | |

交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
 - JR 学研都市線 京田辺から
 - JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20分
- *... 各駅より送迎車あり



今後の紙面の参考にアンケートにご協力ください。左のQRコードからアクセスし南京都病院だよりを読んだご意見ご感想をお寄せください。

南京都病院だより
2023年夏号アンケート
docs.google.com